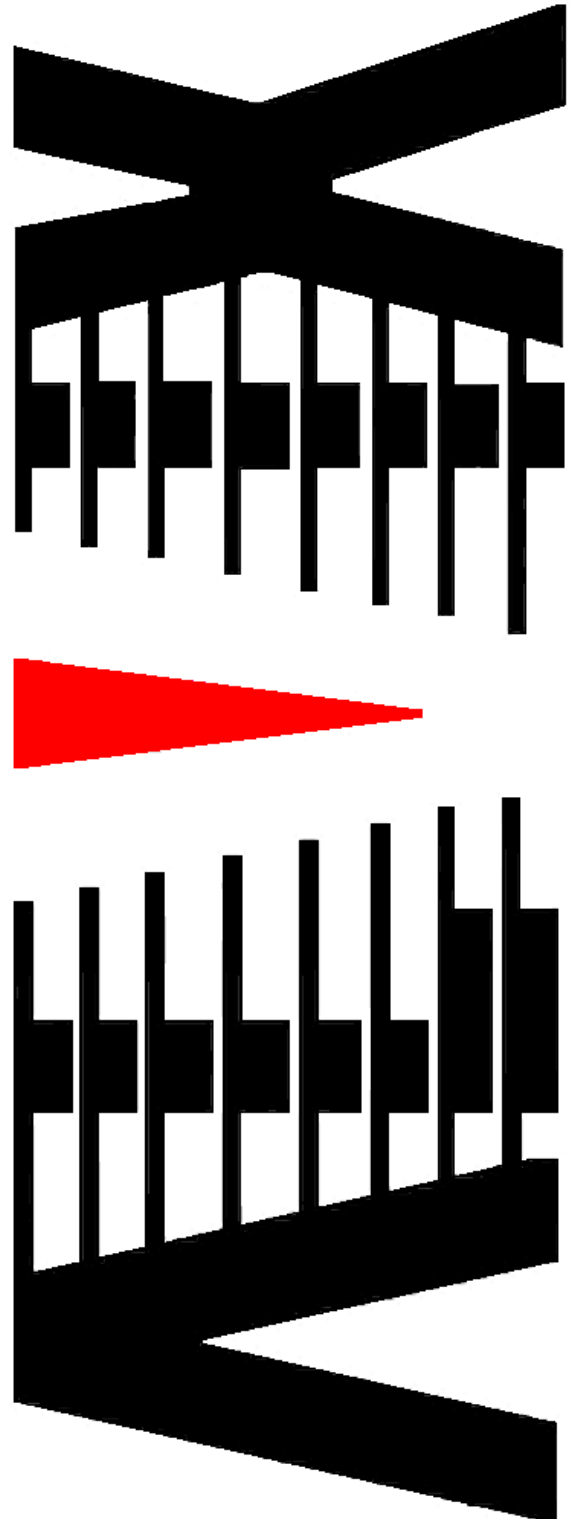


音声モード検知装置
AMD-9
V/A ERROR DETECTION UNIT

監視サーバーソフトウェア 操作説明書

Ver. 1. 0



目 次

	ページ
1. 概要	1
2. 画面説明	2
2. 1 音声モード監視画面	2
2. 2 ログ画面	5
2. 3 チャンネル情報画面	6
2. 4 システム設定	8
2. 4. 1 監視サーバー起動時	8
2. 4. 2 テキスト読み上げ	9
2. 4. 3 時刻補正	11
2. 4. 4 ログ保存	13
2. 4. 5 キー入力ダイアログ	14
2. 5 音声モード監視設定	15
2. 5. 1 アドレスとチャンネル	15
2. 5. 2 SNMPコミュニティ名	22
2. 5. 3 AMD-9監視台数	23
2. 5. 4 アラーム通知	24
2. 5. 5 アラーム判定	26
2. 6 接続設定	28
2. 6. 1 クライアント接続ポート	28
2. 6. 2 初期表示端末接続設定	29
2. 6. 3 SNMP TRAP 通知先	30
2. 7 全Ch情報	31
2. 8 ログ抽出	33
2. 9 バージョン情報	35
2. 9. 1 AMD-9バージョン情報	35
2. 9. 2 管理ソフトバージョン情報	36
2. 10 AMD-9情報参照	37
2. 10. 1 時刻参照・設定	37
2. 10. 2 入力信号情報	38
3. 機能説明	40
3. 1 音声モードアラームの検出について	40
4. 特記事項	41
4. 1 インストールフォルダにあるファイルについて	41

1. 概要

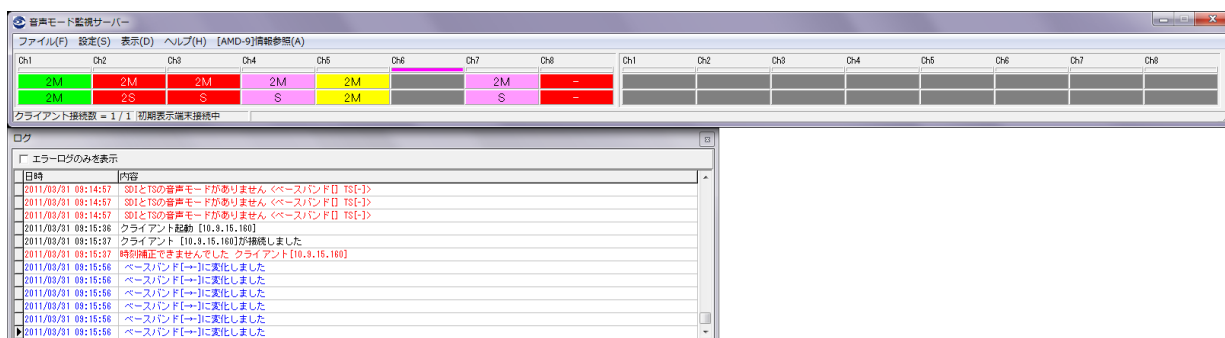
本書は「音声モード検知装置 AMD-9（以下、AMD-9）に添付される監視サーバーソフトウェア（以下、監視サーバー）の操作について説明するものです。

監視サーバーは、AMD-9より通知される音声モード・画角情報からベースバンドとTSの音声モードを比較し、整合／不整合を判別します。

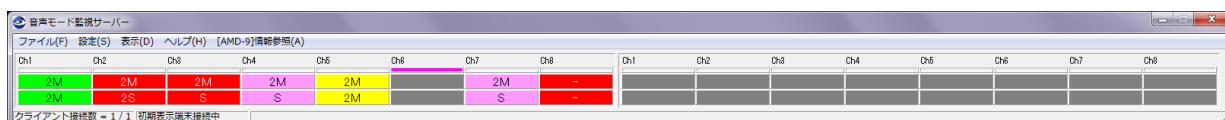
2. 画面説明

監視サーバーを起動すると、音声モード監視画面とログ画面が表示されます。

これらの画面は、常時表示となり個別に閉じることはできません。



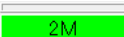

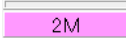









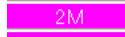


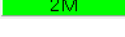


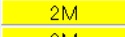
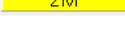
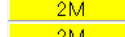

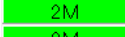
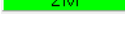
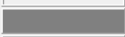


2. 1 音声モード監視画面



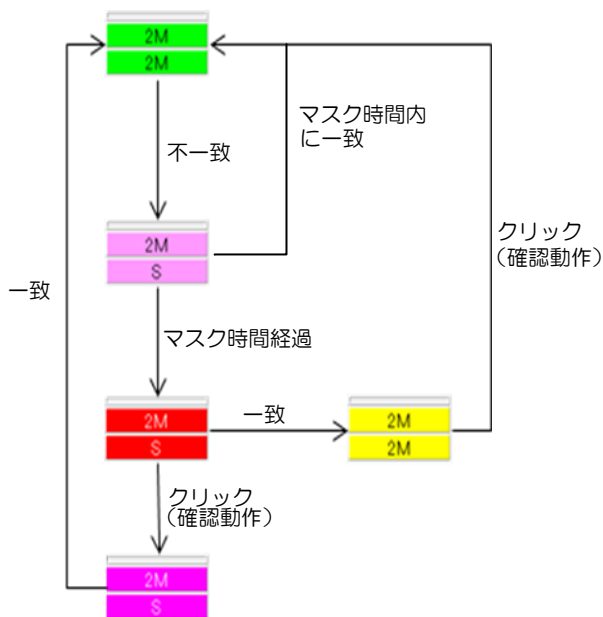
① 音声モード表示

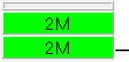

上段：ミュート状態、中段：ベースバンド、下段：TS の音声モードを表示します。

1) 音声モード表示色

- 音声モードが一致した状態では   となります。
- 音声モードが不一致となるとまず   に表示色が変わり、マスク時間が経過すると   に変化します。なお、マスク時間内に一致した場合は   に変化します。
-   の状態で音声モード表示をクリックすると   に変化します(確認済状態)。
-   の状態から音声モードが一致すると   に変化します。
-   の状態から音声モードが一致すると   に変化します。
-   の状態から音声モード表示をクリックすると   に変化します。
- AMD-9のIPアドレス未設定、または、回線未接続状態では  と表示されます。
- ベースバンド/TS のどちらかの音声モードが不定の場合、   と表示されます。


2) 音声モード表示色変化遷移図



- ・音声モード不定が発生した場合はマスク時間がないため、 →  と変化します。

② ミュート設定

- ・ミュート状態をダブルクリックするとミュートの設定/解除が行えます。

- ・ミュート設定時は音声モード表示が  となります。
- ・ミュート状態では音声モードの監視を行いません。
- ・ミュート状態解除時は最新の音声モード状態を表示します。

③ AMD-9 との接続状態

- ・AMD-9 とのヘルスチェックが成功している場合、背景色は設定色（未設定の場合は初期色）を表示します。

Ch1	Ch2	Ch3	Ch4	Ch5	Ch6	Ch7	Ch8
2M	2M	2M	2M	2M		2M	-
2M	2S	S	S	2M		S	-

- ・ヘルスチェックが失敗した場合、音声モード表示が灰色となり、背景色は赤色を表示します。

Ch1	Ch2	Ch3	Ch4	Ch5	Ch6	Ch7	Ch8

- ・AMD-9 の IP アドレスが未設定の場合、音声モード表示が灰色となり、背景色は初期色を表示します。

Ch1	Ch2	Ch3	Ch4	Ch5	Ch6	Ch7	Ch8


④ 監視クライアント接続数

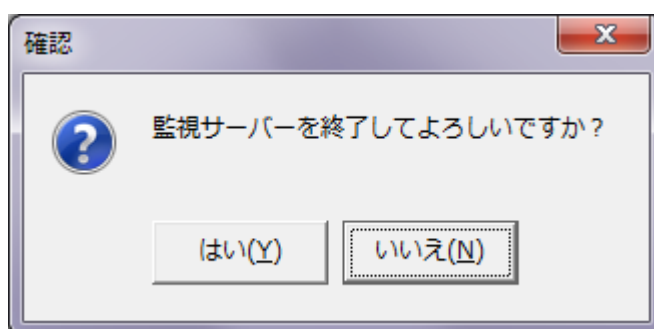
- ・ 監視クライアントの接続数を表示します。
- ・ 接続台数/接続最大数で表示します。

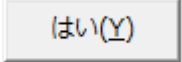
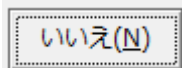
⑤ 初期表示端末接続状態

初期表示端末の接続状態を表示します。

⑥ 管理ソフトの終了

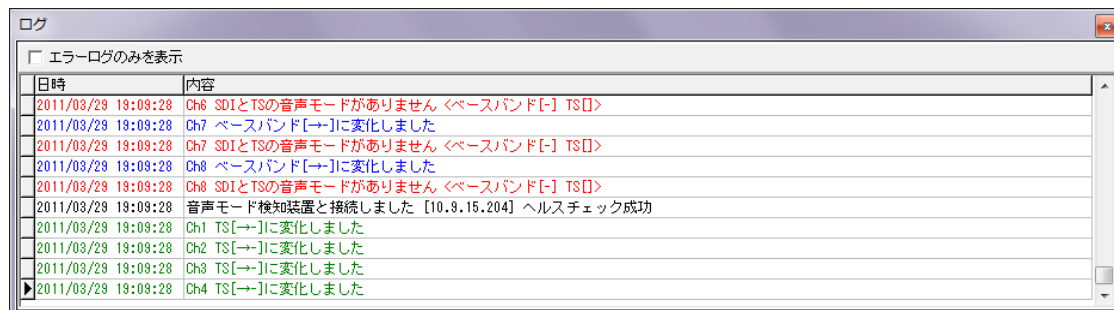
- ・ メニューバーの「設定」→「終了」をクリックするか、をクリックします。
- ・ 以下の確認メッセージが表示されます。



- ・  をクリックすると監視サーバーを終了します。
- ・  をクリックすると終了処理を中止します。

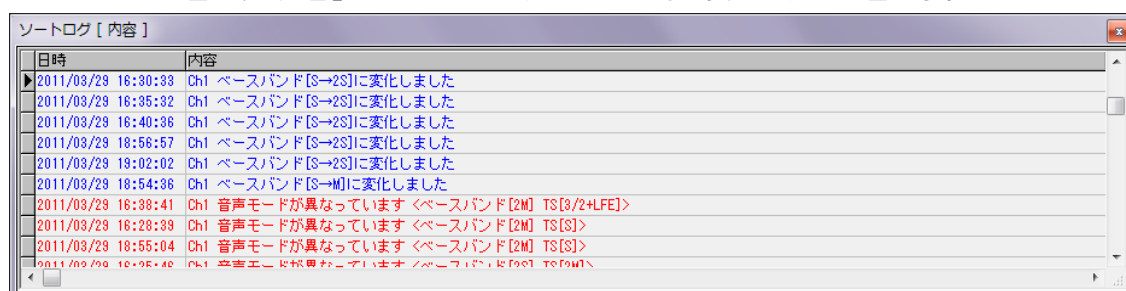
2. 2 ログ画面


AMD-9 から通知される情報を元に、音声モードの変化ログと一致／不一致・音声モード不定のログ、及びシステムの動作ログを表示します。



① ソートログ表示

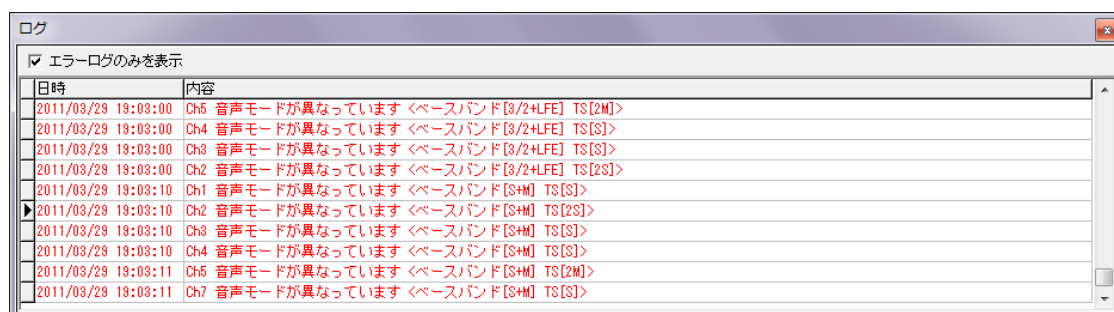
- ・タイトルをクリックすると、クリックしたタイトル内容でソートされたログが表示されます。以下の画面は、「内容」タイトルをクリックした時に表示される画面です。



- ・  をクリックすると抽出ログ画面を閉じます。
- ・ 何も操作せず 60 秒間経過すると、自動的に抽出ログ画面を閉じます。

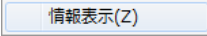
② エラーログのみを表示

- ・ エラーログのみを表示 にチェックを入れることでエラーログのみが表示されます。



- ・ エラーログのみを表示 のチェックを外すことで音声モードの変化ログと一致／不一致・音声モード不定のログを表示します。

2. 3 チャンネル情報画面

「2. 1 音声モード監視画面」の音声モード表示を右クリックし、をクリックすることでチャンネル情報画面が表示されます。

チャンネル情報[Ch1]

ベースバンド局間情報 音声モード=S			TS情報 音声モード=M		
項目	値	内容	項目	値	内容
入力信号形式	1	HD-SDI	ProgramNumber	01F5	-
SDI局間情報有無	1	局間情報あり(ANC)	映像PID	0641	-
映像フォーマット	4	1125i/p	映像フォーマット	1	H.264
映像フレームレート	3	30/1.001	映像水平解像度	1440	-
映像アスペクト比	0	4:3	映像垂直解像度	1080	-
字幕有無	0	字幕無し	映像アスペクト比	1	16:9
			映像フレームレート	3	30/1.001
			字幕有無	0	字幕無し
			有効な音声ADTS数	1	-
			音声PID (1)	04B1	-
			音声フォーマット (1)	0	AAC
			音声モード (1)	1	M
			音声PID (2)	-	-
			音声フォーマット (2)	-	-
			音声モード (2)	-	-
			音声PID (3)	-	-
			音声フォーマット (3)	-	-
			音声モード (3)	-	-
			音声PID (4)	-	-
			音声フォーマット (4)	-	-
			音声モード (4)	-	-
			音声PID (5)	-	-
			音声フォーマット (5)	-	-
			音声モード (5)	-	-
			音声PID (6)	-	-
			音声フォーマット (6)	-	-
			音声モード (6)	-	-
			音声PID (7)	-	-
			音声フォーマット (7)	-	-
			音声モード (7)	-	-
			音声PID (8)	-	-
			音声フォーマット (8)	-	-
			音声モード (8)	-	-

最新の情報を表示 前のチャンネルへ 次のチャンネルへ

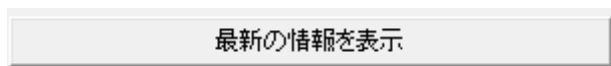
① ベースバンド局間情報

- ・「2. 5. 1 アドレスとチャンネル」にて設定した入力 No の入力信号形式とベースバンド局間情報を表示します。
- ・入力信号形式がベースバンド以外の場合、ベースバンド局間情報は表示されません。
- ・局間情報無しの場合、音声モード、画角情報はすべて<0>になります。

② TS 情報

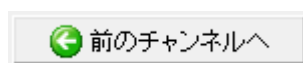
- ・「2. 5. 1 アドレスとチャンネル」にて設定した Program No に該当する TS 情報を表示します。
- ・TS 信号が未入力、または、該当する Program No が TS 信号に存在しない場合、TS 情報は表示されません。

③ 最新の情報を表示



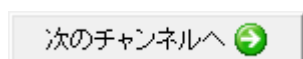
ボタンをクリックします。

④ 1つ前のチャンネル情報を表示



ボタンをクリックします。

⑤ 1つ次のチャンネル情報を表示



ボタンをクリックします。

⑥ 本画面の終了



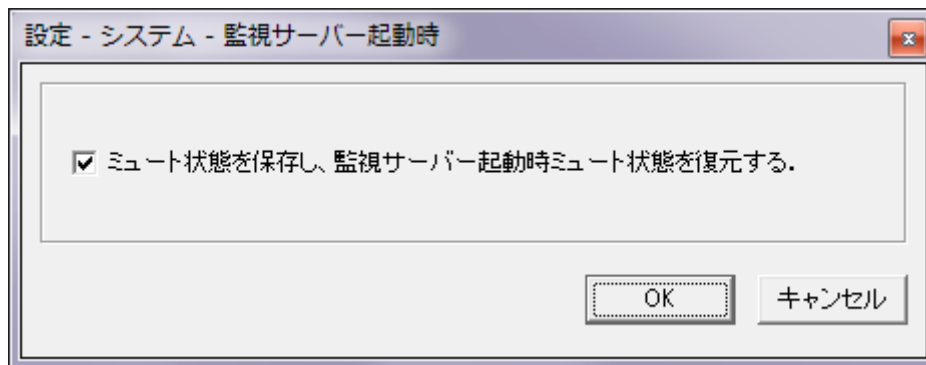
ボタンをクリックします。

2. 4 システム設定

2. 4. 1 監視サーバー起動時

ミュート状態の保存及び監視サーバー起動時のミュート状態復元を設定します。

メニューバーの「設定」→「システム」→「監視サーバー起動時」をクリックすることで設定画面を表示します。



① ミュート状態保存設定

- ミュート状態を保存し、監視サーバー起動時ミュート状態を復元する。 にチェックなし

監視サーバー終了時にミュート状態を保存しません。

また、監視サーバー起動時にミュート状態の復元を行いません。

- ミュート状態を保存し、監視サーバー起動時ミュート状態を復元する。 にチェックあり

監視サーバー終了時にミュート状態を保存します。

また、監視サーバー起動時にミュート状態の復元を行います。

② 設定の保存

ボタンをクリックします。設定を保存し、本画面を閉じます。

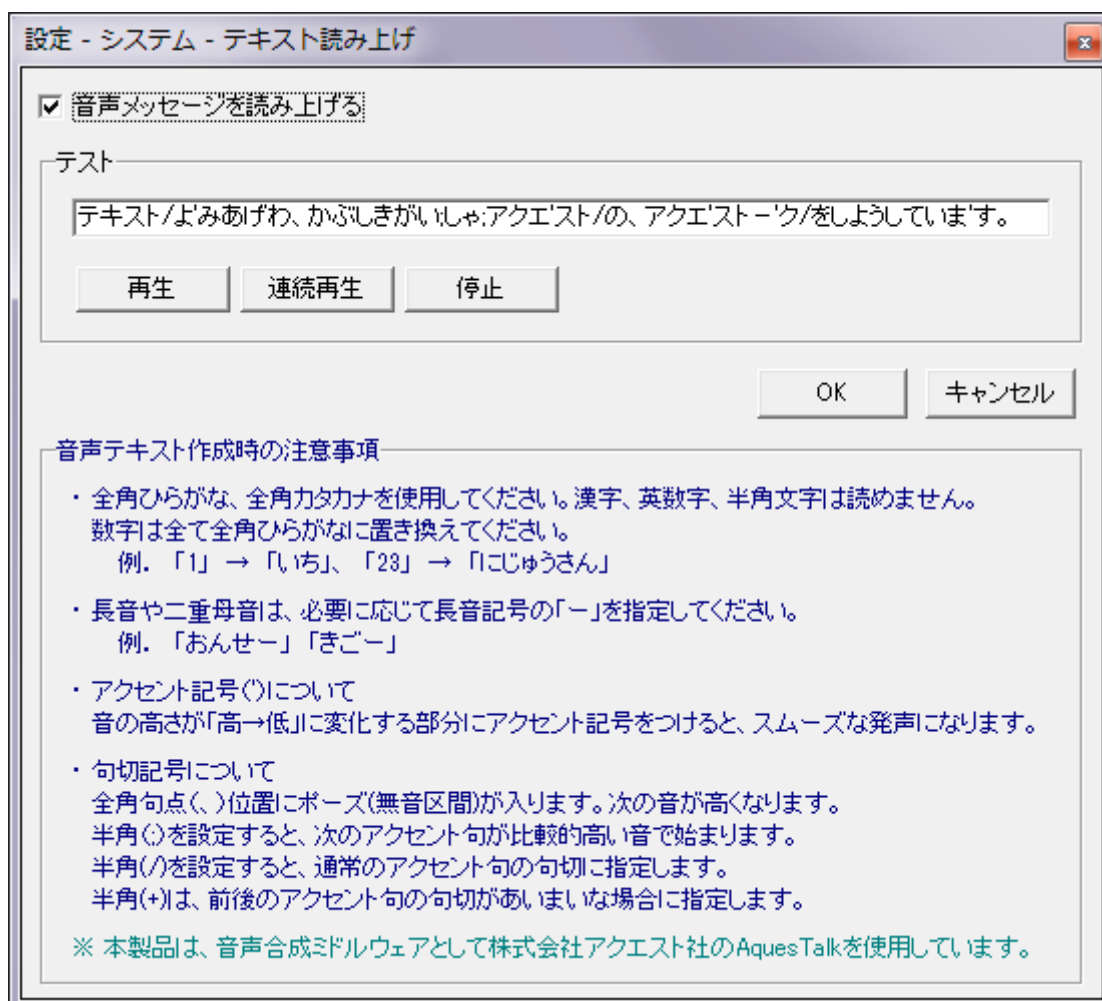
③ 設定のキャンセル

ボタンをクリックします。設定をキャンセルし、本画面を閉じます。

2. 4. 2 テキスト読み上げ

エラー発生時のテキスト読み上げ設定を行います。

メニューバーの「設定」→「システム」→「テキスト読み上げ」をクリックすることで設定画面を表示します。



① テキスト読み上げの設定

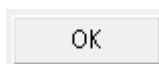
- ・ **音声メッセージを読み上げる** にチェックなし

エラー発生時、音声メッセージを読み上げません。

- ・ **音声メッセージを読み上げる** にチェックあり

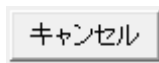
比較エラー発生時、「2. 5. 1 アドレスとチャンネル」と「2. 5. 4 アラーム通知」にて設定した音声メッセージを組み合わせ、どのチャンネルで比較エラーが発生したかを読み上げます。

② 設定の保存



ボタンをクリックします。設定を保存し、本画面を閉じます。

③ 設定のキャンセル



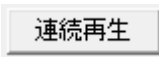
ボタンをクリックします。設定をキャンセルし、本画面を閉じます。

④ 音声メッセージの作成と再生

- ・テスト内の文章を読み上げます。

②にて 音声メッセージを読み上げる のチェックを外すとこの機能は無効となります。

- ・  ボタンをクリックするとテキストボックス内の文章を1回読み上げます。

- ・  ボタンをクリックするとテキストボックス内の文章を連続再生します。

②にて 音声メッセージを読み上げる にチェックを付けた設定を保存すると、連続再生が可能になります。

- ・  ボタンをクリックすると読み上げを停止します。

⑤ 音声テキスト作成時の注意事項

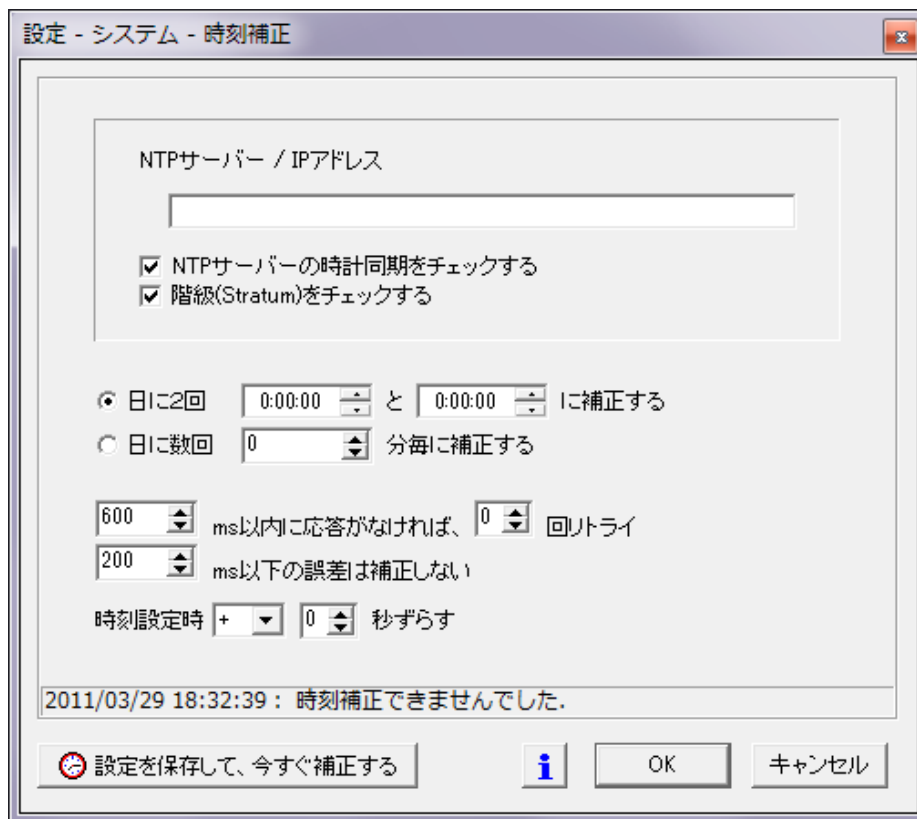
音声メッセージを設定する際の注意事項です。

こちらを参考にメッセージを作成します。

2. 4. 3 時刻補正

時刻補正設定を行います。

メニューバーの「設定」→「システム」→「時刻補正」をクリックします。



① 時刻補正の設定

1) NTP サーバー設定

外部 NTP サーバーに対して時刻を要求し、応答の時刻を PC に設定します。

NTP サーバーの IP アドレスを設定してください。

2) 契機設定

- ・ **日に2回** にチェック：

時刻補正を行う時刻を指定します。

※23:55:00～0:05:00 の間は補正できません。

※指定時刻の両方に<0:00:00>を設定した場合は、時刻補正を行いません。

※時刻補正後、成否に関係なく AMD-9 に PC 時刻を設定します。

- ・ **日に数回** にチェック：

時刻補正を行う間隔（分毎）を設定します。

※補正間隔に<0>分毎を設定した場合は、時刻補正を行いません。

※補正間隔<0>以外の場合、AMD-9 に NTP サーバーの IP アドレスと補正間隔を設定し、AMD-9 より NTP サーバーにアクセスし時刻補正を行います。

※PC の時刻補正も同様の補正間隔で行います。

3) その他

・ ms以内に応答がなければ、 回リトライ

NTP サーバーに時刻要求後の応答待ち時間と無応答時のリトライ回数を指定します。


・ ms以下の誤差は補正しない

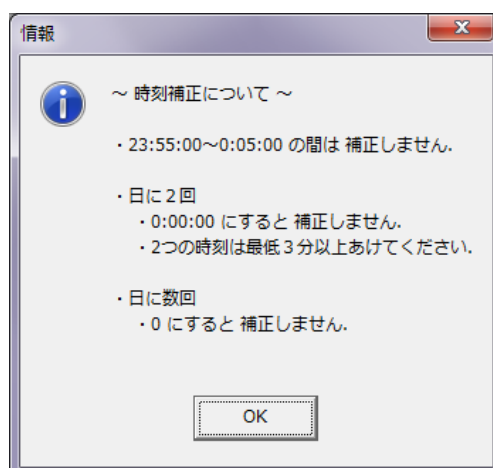
NTP サーバーより取得した時刻と PC 時刻のずれが設定値以上の時、応答時刻を PC に設定します。

・ 時刻設定時 秒ずらす

応答時刻に指定秒を加減し、PC に設定します。


② 補足情報の表示

 ボタンをクリックします。



ボタンをクリックすると、この情報画面を閉じます。

③ 設定の保存と時刻補正

 設定を保存して、今すぐ補正する ボタンをクリックします。

④ 設定の保存

ボタンをクリックします。設定を保存し、本画面を閉じます。

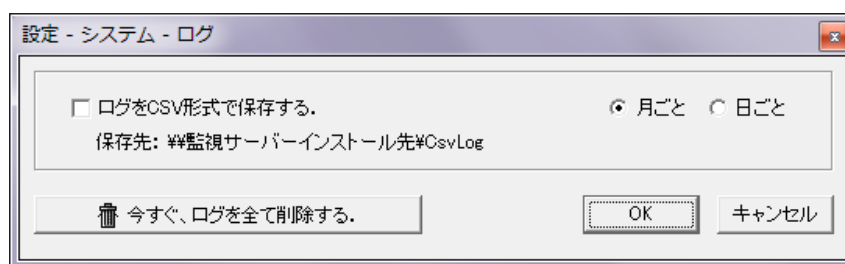
⑤ 設定のキャンセル

ボタンをクリックします。設定をキャンセルし、本画面を閉じます。

2. 4. 4 ログ保存

ログの保存方法設定、ログの削除を行います。

メニューバーの「設定」→「システム」→「ログ」をクリックします。



① ログ保存の設定

- ・ ログをCSV形式で保存する。 にチェックなし

ログを CSV 形式で保存しません。

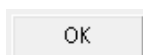
- ・ ログをCSV形式で保存する。 にチェックあり

ログを CSV 形式で保存します。

- ・ 月ごと にチェック：CSV ファイルがひと月1ファイルとなります。

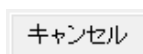
- ・ 日ごと にチェック：CSV ファイルが1日1ファイルとなります。

② 設定の保存



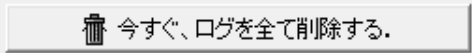
ボタンをクリックします。設定を保存し、本画面を閉じます。

③ 設定のキャンセル

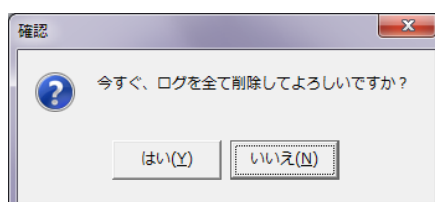


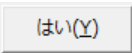
ボタンをクリックします。設定をキャンセルし、本画面を閉じます。

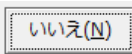
④ ログの全削除

- ・  ボタンをクリックします。

- ・ 以下の確認メッセージが表示されます。



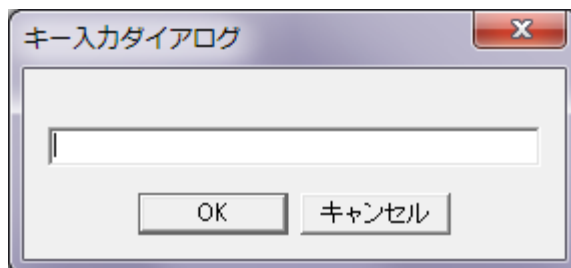
- ・  をクリックするとログを全て削除します。

- ・  をクリックするとログの全削除処理を中止します。

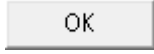
2. 4. 5 キー入力ダイアログ

ライセンス保護の為、本ソフトのインストール後やクライアントの接続数を増やす際にはキー入力が必要になります。


メニューバーの「設定」→「システム」→「キー入力ダイアログ」をクリックします。



① 設定の保存

インストールディスク内にあるキーを入力し、をクリックして下さい。

② 設定のキャンセル

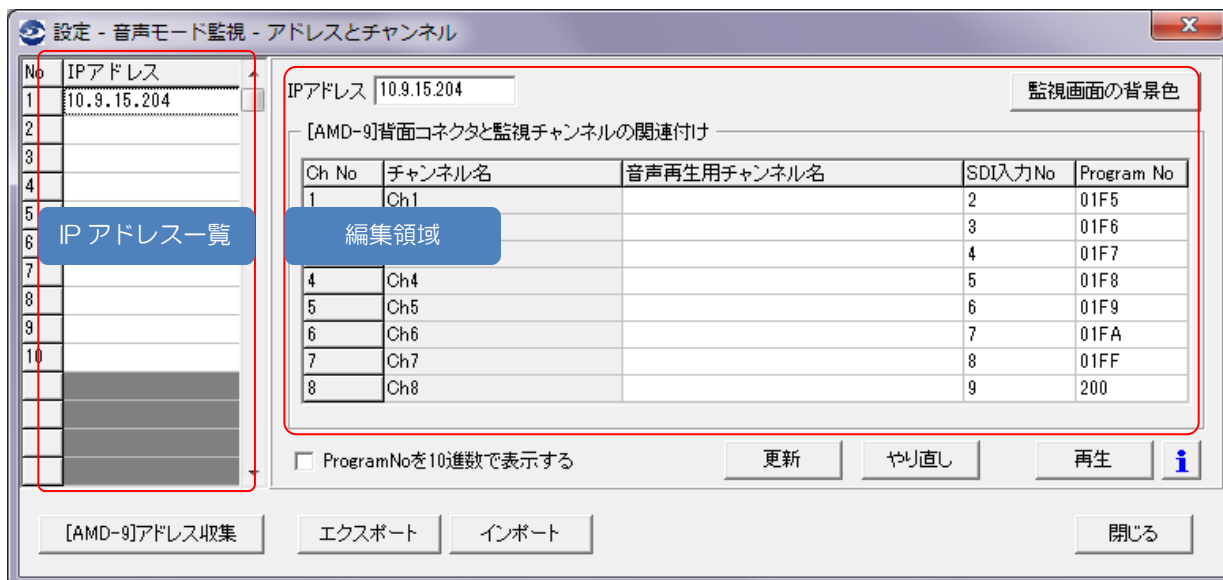
 ボタンをクリックします。設定をキャンセルし、本画面を閉じます。

2. 5 音声モード監視設定

2. 5. 1 アドレスとチャンネル

AMD-9 の IP アドレスの設定及びチャンネルの設定を行います。

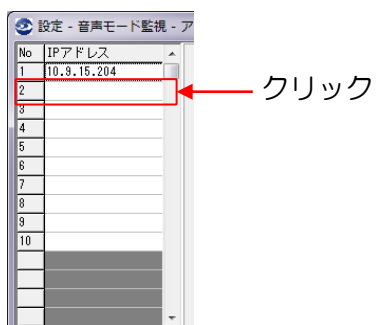
メニューバーの「設定」→「音声モード監視」→「アドレスとチャンネル」をクリックします。



① IP アドレスの設定

1) 個別設定

- ・ 左側の IP アドレス一覧より設定を行うセルをクリックします。

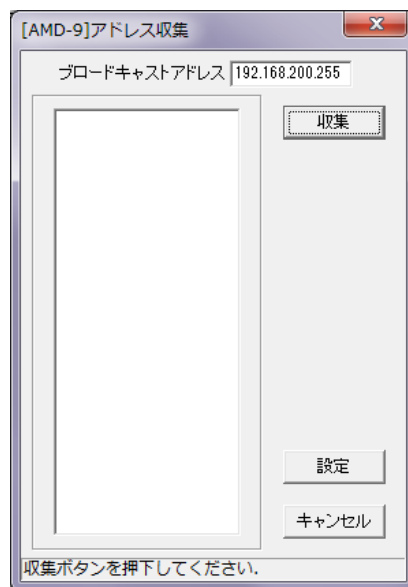


- ・ 右側の編集領域に選択した AMD-9 の設定情報が表示されます。
- ・ IP アドレスを入力します。

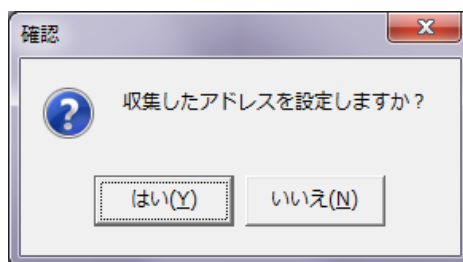


2) 自動設定

- ・ **[AMD-9]アドレス収集** ボタンをクリックすると[AMD-9]アドレス収集画面が表示されます。



- ・ ブロードキャストアドレスを入力し、 **収集** ボタンをクリックします。AMD-9のIPアドレスが一覧表示されます。
- ・ **設定** ボタンをクリックすると以下の確認メッセージ画面が表示されます。



- ・ **はい(Y)** をクリックすると収集したIPアドレスを昇順に設定し、本画面を閉じます。

- ・ **いいえ(N)** をクリックすると設定を中止します。

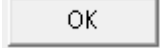

- ・ **キャンセル** ボタンをクリックするとアドレス収集をキャンセルし、本画面を閉じます。

② [AMD-9]背面コネクタと監視チャンネルの関連付け



1) チャンネル名

- ・監視チャンネル名を入力します。
- ・「2. 1 音声モード監視画面」には半角 15 文字のみ表示します。
- ・「2. 1 音声モード監視画面」に表示するチャンネル名の文字色を変更するには、セル上で右クリックしポップアップメニューの「文字色」をクリックします。
- ・色の設定画面が表示されます。



- ・色を選択し、 ボタンをクリックすることで編集領域のチャンネル名が設定色で表示されます。
- ・ ボタンをクリックすると文字色の設定を中止します。

2) 音声再生用チャンネル名

- ・比較エラー通知時のテキスト読み上げを行うチャンネル名を入力します。
- ・ をクリックすると別ウィンドウに「音声テキスト作成時の注意事項」が開きますのでこちらを参考に音声メッセージを入力します。
- ・ ボタンをクリックすると、入力した音声メッセージを読み上げます。

3) SDI 入力 No

監視チャンネルのベースバンドが入力されているコネクタ No を入力します。

4) Program No

監視チャンネルの Program No を入力します。

ProgramNoを10進数で表示する にチェックを入れると 10 進数で設定できます。

③ 監視画面の背景色の設定

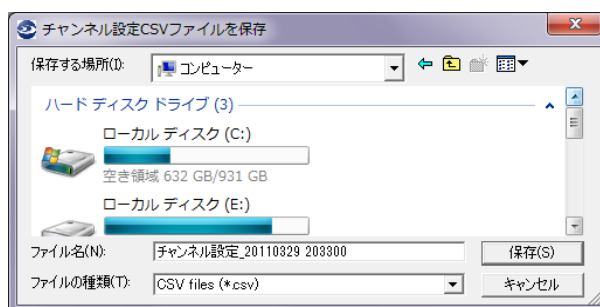
- ・ **監視画面の背景色** ボタンをクリックします。設定を保存し、本画面を閉じます。
- ・ 色の設定画面が表示されます。
- ・ 色を選択し、 **OK** ボタンをクリックします。編集領域のチャンネル名の背景が設定色で表示されます。
- ・ **キャンセル** ボタンをクリックすると背景色の設定を中止します。

④ ファイルのエクスポート

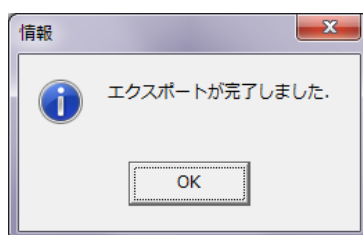
チャンネル名や SDI No、ProgramNo を一括で設定する為の CSV ファイルをエクスポートします。

1) ファイルのエクスポート方法

- ・ **エクスポート** をクリックするとファイル保存ダイアログが表示されます。



- ・ 保存するファイルの場所とファイル名を設定します。
- ・ ファイル名は初期値として「チャンネル設定_年月日_時分秒」が設定されます。
- ・ **保存(S)** をクリックすることでエクスポートが開始されます。



エクスポート完了ダイアログが表示されます。

- ・ **キャンセル** をクリックすることでエクスポートせずにファイル指定画面を閉じます。

2) エクスポートファイルの取り扱い

- ・以下の画像はエクスポートしたファイルの Microsoft Excel で表示したものです。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	AMD No	Ch No	チャンネル名	文字色	SDI入力No	Program No	背景色	ミュート状態
2	1	1	Ch1	8388863	2 01	F5	-2.1E+09	0
3	1	2	Ch2	-2.1E+09	3 01	F6	-2.1E+09	0
4	1	3	Ch3	-2.1E+09	4 01	F7	-2.1E+09	0
5	1	4	Ch4	-2.1E+09	5 01	F8	-2.1E+09	0
6	1	5	Ch5	-2.1E+09	6 01	F9	-2.1E+09	0
7	1	6	Ch6	-2.1E+09	7 01	FA	-2.1E+09	0
8	1	7	Ch7	-2.1E+09	8 01	FF	-2.1E+09	0
9	1	8	Ch8	-2.1E+09	9	200	-2.1E+09	0
10	2	1	Ch1	-2.1E+09	1		-2.1E+09	0
11	2	2	Ch2	-2.1E+09	2		-2.1E+09	0
12	2	3	Ch3	-2.1E+09	3		-2.1E+09	0
13	2	4	Ch4	-2.1E+09	4		-2.1E+09	0
14	2	5	Ch5	-2.1E+09	5		-2.1E+09	0
15	2	6	Ch6	-2.1E+09	6		-2.1E+09	0
16	2	7	Ch7	-2.1E+09	7		-2.1E+09	0
17	2	8	Ch8	-2.1E+09	8		-2.1E+09	0
18	3	1	Ch1	-2.1E+09	1		-2.1E+09	0

- ・「AMD No」はIPアドレス一覧のセルNoと一致しています。
- ・上からIPアドレス一覧セルNo1のCh1の設定項目、IPアドレス一覧セルNo1のCh2の設定項目・・・となっています。
- ・対応する「チャンネル名」、「SDI入力No」、「ProgramNo」を入力してください。

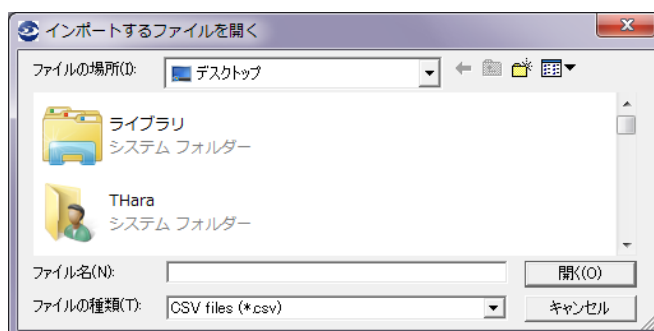
※「ProgramNo」は16進数で入力してください。

※各タイトル名、「AMD No」、「Ch No」、「文字色」、「背景色」、「ミュート状態」の値変更は行わないでください。

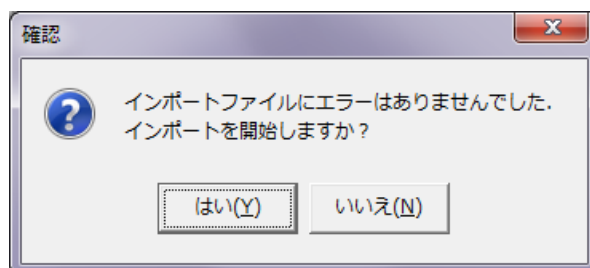
⑤ ファイルのインポート

チャンネル名や SDI No、 ProgramNo を一括で設定する為にファイルをインポートします。

- ・  をクリックすることでファイル選択ダイアログが表示されます。




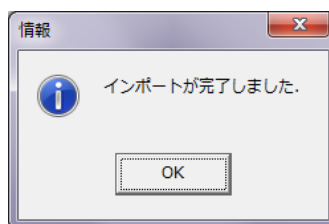
- ・ インポートするファイルを指定します。
- ・ ファイルに正しく値が設定されている場合、インポート確認ダイアログが表示されます。



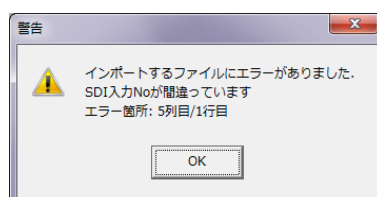
- ・  をクリックすることで設定をインポートします。

- ・  をクリックすることでインポートを中止します。


- ・  をクリックし、インポートが完了するとインポート完了ダイアログが表示されます。




- ・ インポートファイルに誤りがある場合、エラーダイアログが表示されます。表示されたエラー箇所を参考にインポートファイルを修正してください。



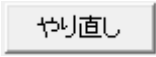
⑥ 設定の保存

 ボタンをクリックします。

- ・  ボタンをクリックせずに別の IP アドレスをクリックした場合、入力はキャンセルされます。

- ・ AMD-9 との接続が成功している場合のみ、背景色がメイン画面に反映されます。

⑦ 設定のキャンセル

 ボタンをクリックします。

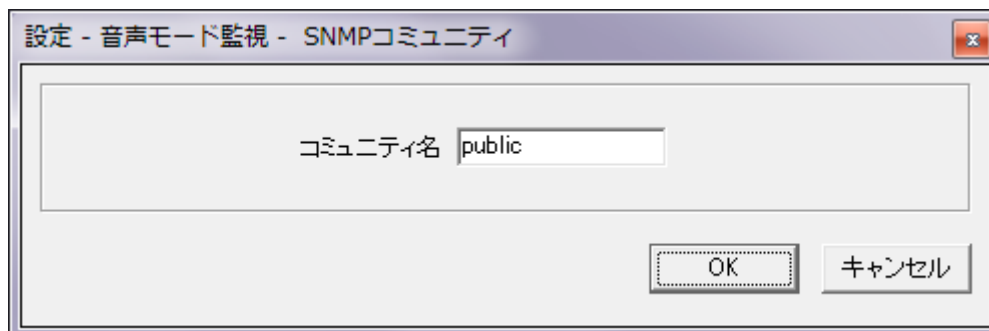
⑧ 本画面の終了

 ボタンをクリックします。

2. 5. 2 SNMPコミュニティ名

AMD-9のSNMPコミュニティ名を設定します。

メニューバーの「設定」→「音声モード監視」→「SNMPコミュニティ」をクリックします。

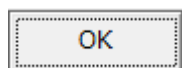


① コミュニティ名の設定

AMD-9のSNMPコミュニティ名を入力します。

全AMD-9の共通設定となります。

② 設定の保存



ボタンをクリックします。設定を保存し、本画面を閉じます。

③ 設定のキャンセル

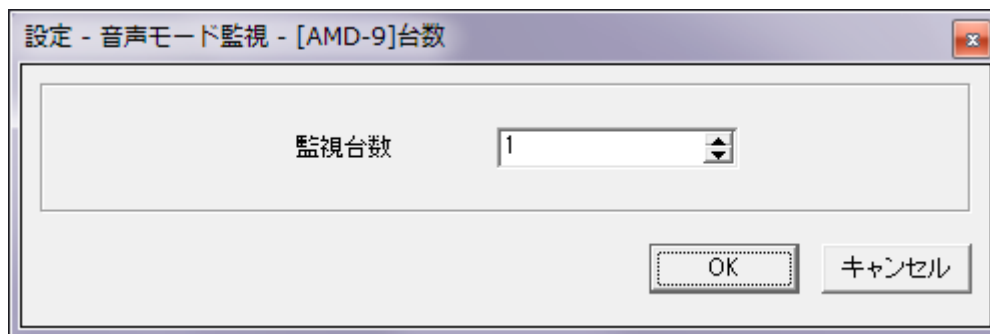


ボタンをクリックします。設定をキャンセルし、本画面を閉じます。

2. 5. 3 AMD-9監視台数

監視するAMD-9の台数を設定します。

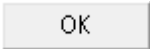
メニューバーの「設定」→「音声モード監視」→「[AMD-9]台数」をクリックします。



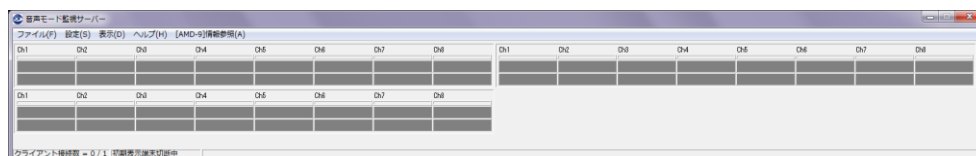
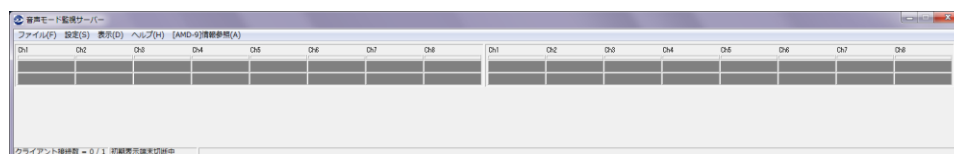
① AMD-9 監視台数の設定

監視台数を直接入力するか、 をクリックして設定します。


② 設定の保存

 ボタンをクリックします。設定を保存し、本画面を閉じます。

- ・監視台数を増やした場合、1台につき8chの音声モード表示がメイン画面に追加されます。増加したchの各設定は初期値が設定されているので改めて設定を行ってください。
- ・監視台数を減らした場合、1台につき8chの音声モード表示がメイン画面から削除されます。
[表示例：2台→3台にした場合]



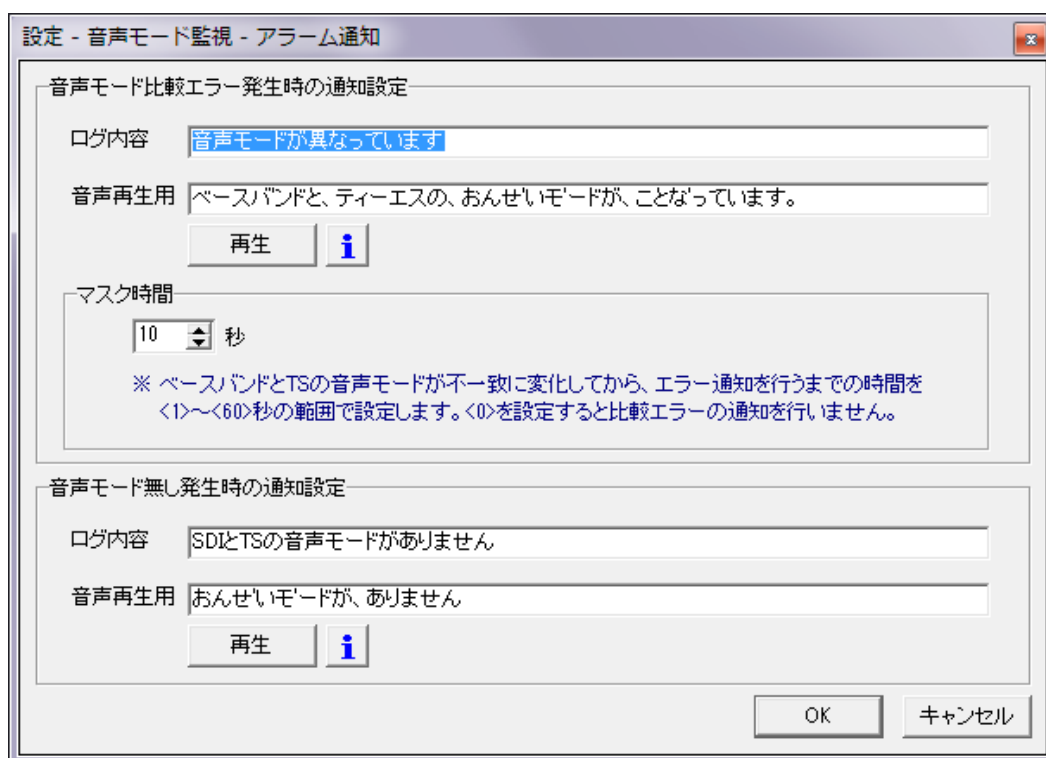
③ 設定のキャンセル

 ボタンをクリックします。設定をキャンセルし、本画面を閉じます。

2. 5. 4 アラーム通知

アラーム発生時のログ内容、音声内容及びマスク時間を設定します。

メニューバーの「設定」→「音声モード監視」→「アラーム通知」をクリックします。



① 音声モード比較エラー発生時の通知設定

1) ログ内容

「2. 2 ログ画面」の内容欄に表示する文言を入力します。


- ・ログには、設定したログ内容に発生チャンネル名、ベースバンドと TS の音声モードが付加されます。

表示例：

2011/03/30 11:41:34 Ch1 音声モードが異なっています <ベースバンド[S] TS[2M]>


2) 音声再生用

- ・比較エラー通知時のテキスト読み上げを行う文言を入力します。

- ・  をクリックすると別ウィンドウに「音声テキスト作成時の注意事項」が開きますのでこちらを参考に音声メッセージを入力します。

- ・  ボタンをクリックすると、入力した音声メッセージを読み上げます。

3) マスク時間


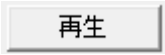
- ・音声モードが不一致に変化してからエラー通知を行うまでの時間を<0>〜<60>秒の範囲で直接入力するか、 をクリックして設定します。
- ・マスク時間以上比較エラーが継続した時に、エラー通知を行います。
- ・<0>を設定すると比較エラー通知を行いません

② 音声モード無しエラー発生時の通知設定

1) ログ内容

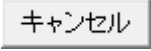
- ・「2. 2 ログ画面」の内容欄に表示する文言を入力します。
- ・ログには、設定したログ内容に発生チャンネル名が付加されます。

2) 音声再生用

- ・音声モード無しエラー通知時のテキスト読み上げを行う文言を入力します。
- ・ をクリックすると別ウィンドウに「音声テキスト作成時の注意事項」が開きますのでこちらを参考に音声メッセージを入力します。
- ・ ボタンをクリックすると、入力した音声メッセージを読み上げます。

③ 音声モード比較エラー発生時の通知設定の保存

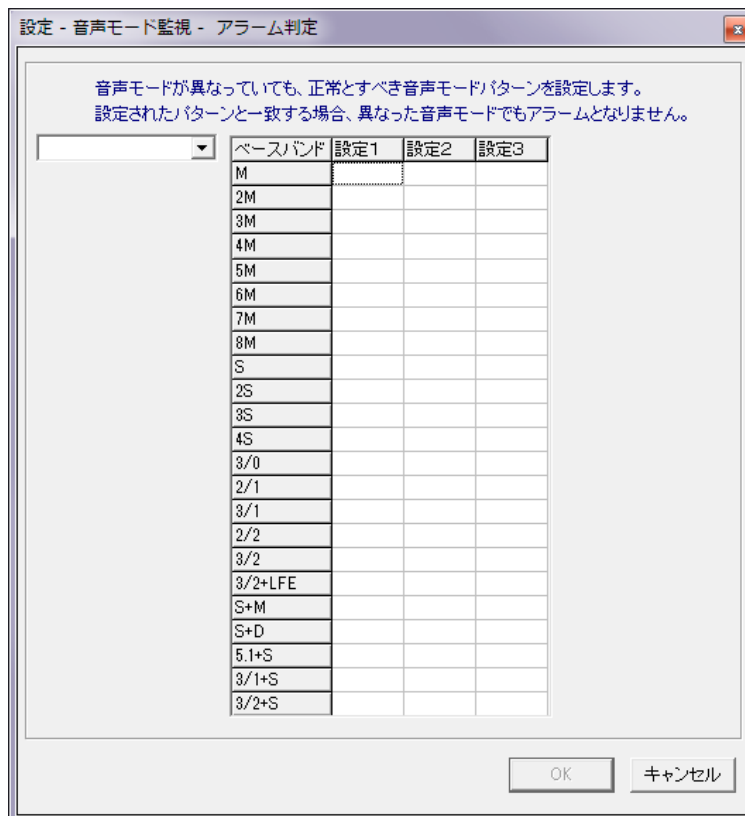
 ボタンをクリックします。設定を保存し、本画面を閉じます。

 ボタンをクリックします。設定をキャンセルし、本画面を閉じます。


2. 5. 5 アラーム判定

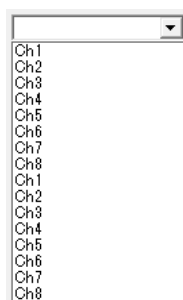
音声モードが異なっている場合でも正常と判断する音声モードパターンを設定します。
ベースバンドの音声モードに対して正常と判断する TS の音声モードを最大 3 パターン設定することが出来ます。

メニューバーの「設定」→「音声モード監視」→「アラーム判定」をクリックします。



① アラーム判定

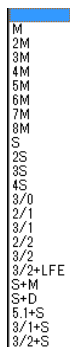
- ・  をクリックします。
- ・ 設定するチャンネル名をクリックして下さい。



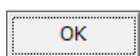
- ・ 設定を行うセルをクリックしてください。



- ・音声モードリストが表示されますので、リストより設定する音声モードを選択してください。

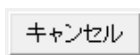


② 設定の保存



ボタンをクリックします。設定を保存し、本画面を閉じます。

③ 設定のキャンセル



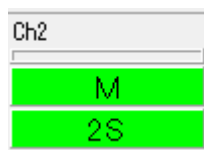
ボタンをクリックします。設定をキャンセルし、本画面を閉じます。

[設定例]

- ・“Ch2” のベースバンド「M」に TS「2S」を設定



- ・M と 2S の場合は正常状態で表示される

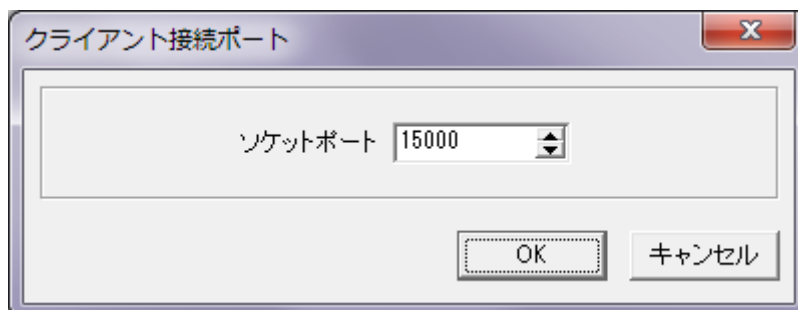


2. 6 接続設定


2. 6. 1 クライアント接続ポート

クライアントとの接続ポートを設定します。

メニューバーの「設定」→「接続設定」→「クライアント接続ポート」をクリックします。



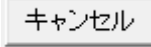
① クライアント接続ポートの設定

ソケットポートを直接入力するか、 をクリックして設定します。

② 設定の保存

 ボタンをクリックします。設定を保存し、本画面を閉じます。

③ 設定のキャンセル

 ボタンをクリックします。設定をキャンセルし、本画面を閉じます。

2. 6. 2 初期表示端末接続設定


初期表示端末との接続設定をします。

メニューバーの「設定」→「接続設定」→「初期表示端末接続設定」をクリックします。

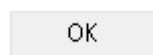


① IP アドレス/ソケットポートの設定

・IP アドレスを入力します。

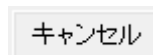
・ソケットポートを直接入力するか、 をクリックして設定します。

② 設定の保存



ボタンをクリックします。設定を保存し、本画面を閉じます。

③ 設定のキャンセル



ボタンをクリックします。設定をキャンセルし、本画面を閉じます。

2. 6. 3 SNMP TRAP 通知先

他の機器にトラップを通知する為の設定をします。

メニューバーの「設定」→「接続設定」→「SNMP TRAP 通知先」をクリックします。



The image shows a dialog box titled "SNMP TRAP 通知先" (SNMP TRAP Destination). It contains a table with 5 rows and 3 columns: "No", "IPアドレス", and "コミュニティ名". The first row is pre-filled with "1", an empty IP address field, and "public". The other rows are empty. Below the table are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

No	IPアドレス	コミュニティ名
1		public
2		
3		
4		
5		

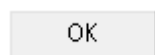
① SNMP TRAP 通知先の設定

IP アドレスとコミュニティ名を入力してください。

※間違った IP アドレスや電源を OFF にした機器等、ネットワークに存在しない IP アドレスを設定しないで下さい。

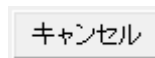
ネットワークに存在しない IP アドレスを設定した場合、OS 依存で ARP のリトライを行ってしまう場合があり、ソフトウェアが不安定となり、予期しない動作をすることがあります。

② 設定の保存



ボタンをクリックします。設定を保存し、本画面を閉じます。

③ 設定のキャンセル



ボタンをクリックします。設定をキャンセルし、本画面を閉じます。

2. 7 全Ch情報

全AMD-9に入力されている情報を表示します。

メニューバーの「表示」→「全Ch情報」をクリックします。

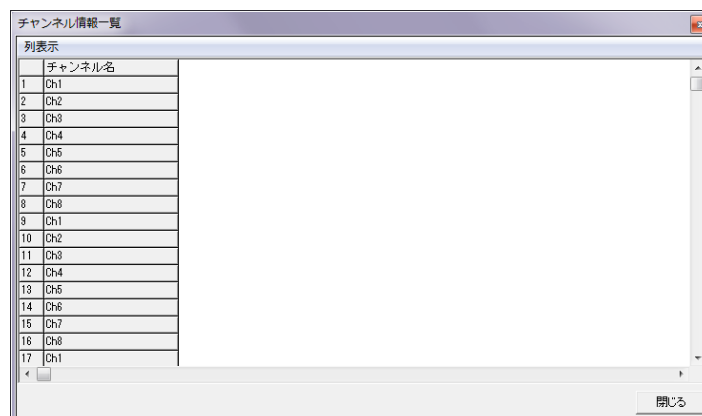
チャンネル名	SIG	局番	BVFM	BVFR	BVA	BCC	BAM	TPNo	TVC	TVP	TVFM	TVH	TVY	TVA	TVFR	TCC	TAC	TAP1	TAF1	TAM1	TAP2	TAF2	T...
1 Ch1	1	0	0	0	0	0	0	01F5	1	0641	1	1440	1080	1	3	0	1	04B1	0	6	-	-	-
2 Ch2	1	0	0	0	0	0	0	01F6	1	0642	1	1440	1080	1	3	0	2	04B2	0	2	0516	0	2
3 Ch3	1	0	0	0	0	0	0	01F7	1	0643	1	1440	1080	1	3	0	1	04B3	0	2	-	-	-
4 Ch4	1	0	0	0	0	0	0	01F8	1	0644	1	1440	1080	1	3	0	1	04B4	0	2	-	-	-
5 Ch5	1	0	0	0	0	0	0	01F9	1	0645	1	1440	1080	1	3	0	1	04B5	0	0	-	-	-
6 Ch6	1	0	0	0	0	0	0	01FA	1	0646	1	1440	1080	1	3	0	1	FFFE	0	0	-	-	-
7 Ch7	1	0	0	0	0	0	0	01FF	1	0647	1	1440	1080	1	3	0	1	04B7	0	2	-	-	-
8 Ch8	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9 Ch1																							
10 Ch2																							
11 Ch3																							
12 Ch4																							
13 Ch5																							
14 Ch6																							
15 Ch7																							
16 Ch8																							
17 Ch1																							

- ・全Chのベースバンド及びTSの情報一覧が表示されます。
- ・情報が取得できない項目は「-」が表示されます。
- ・AMD-9が接続されていない項目は空欄となります。

① 情報表示設定

メニューバーの「列表示」にて表示する情報を設定できます。

- ・ **すべて表示** をクリックすることですべての情報を表示します。
- ・ **すべて非表示** をクリックすることですべての情報を非表示にします。



- ・メニューバーの「列表示」→「[SIG]入力信号形式」および「ベースバンド局間情報」以下の各項目、「TS」以下の各項目のクリックすることによって対応項目の表示・非表示の設定が出来ます。

- ・表示する場合は項目名の左に が付きます。

[表示例：TS・[TVV]映像垂直解像度を非表示]

本来はここに[TVV]項目がある

チャンネル情報一覧

列表示

すべて表示
すべて非表示

[SIG]:入力信号形式

ベースバンド局間情報

間	BVFM	BVFR	BVA	BCC	BAM	TPNo	TVC	TVP	TVFM	TVH	TVA	TVFR	TCC	TAC	TAP1	TAF1	TA
4	3	0	0	8	01F5	1	0641	1	1440	1	3	0	1	04B1	0	6	
4	3	0	0	8	01F6	1	0642	1	1440	1	3	0	2	04B2	0	2	
4	3	0	0	8	01F7	1	0643	1	1440	1	3	0	1	04B3	0	2	
4	3	0	0	8	01F8	1	0644	1	1440	1	3	0	1	04B4	0	2	

TS

- [TPNo]:ProgramNumber
- [TVC]:有効な映像TS数
- [TVP]:映像PID
- [TVFM]:映像フォーマット
- [TVH]:映像水平解像度
- [TVV]:映像垂直解像度
- [TVA]:映像アスペクト比
- [TVFR]:映像フレームレート
- [TCC]:字幕有無
- [TAC]:有効な音声ADTS数
- [TAP1]:音声PID1
- [TAF1]:音声フォーマット1
- [TAM1]:音声モード1
- [TAP2]:音声PID2
- [TAF2]:音声フォーマット2
- [TAM2]:音声モード2
- [TAP3]:音声PID3
- [TAF3]:音声フォーマット3
- [TAM3]:音声モード3
- [TAP4]:音声PID4
- [TAF4]:音声フォーマット4
- [TAM4]:音声モード4
- [TAP5]:音声PID5
- [TAF5]:音声フォーマット5
- [TAM5]:音声モード5
- [TAP6]:音声PID6
- [TAF6]:音声フォーマット6
- [TAM6]:音声モード6
- [TAP7]:音声PID7
- [TAF7]:音声フォーマット7
- [TAM7]:音声モード7
- [TAP8]:音声PID8
- [TAF8]:音声フォーマット8
- [TAM8]:音声モード8

閉じる

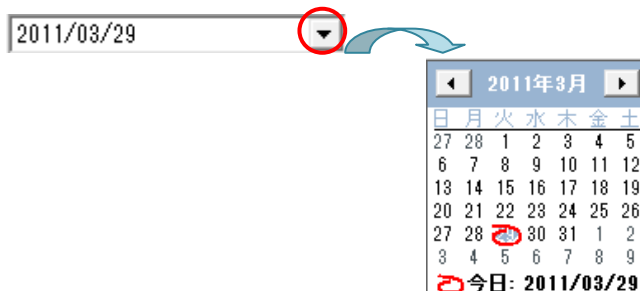
2. 8 ログ抽出

「2. 2 ログ画面」に表示されているログを、条件を指定して抽出します。
メニューバーの「表示」→「ログ抽出」をクリックします。

① 抽出条件の指定

1) 日付の抽出範囲

- ・日付を直接入力するか、または、カレンダーより選択します。



- ・ ボタンをクリックすると<1899/12/30>~<現在日付>を設定します。

2) 時刻の抽出範囲

- ・時間を直接入力するか、または、にて設定します。

時刻の時を選択し、上ボタンをクリック → 1時間進みます。



時刻の分を選択し、下ボタンをクリック → 1分戻ります。



- ・ ボタンをクリックすると<0:00:00>~<23:59:59>を設定します。

3) ログ内容による抽出

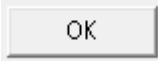
ログの「内容」欄に含まれるキーワードを1つ入力することができます。

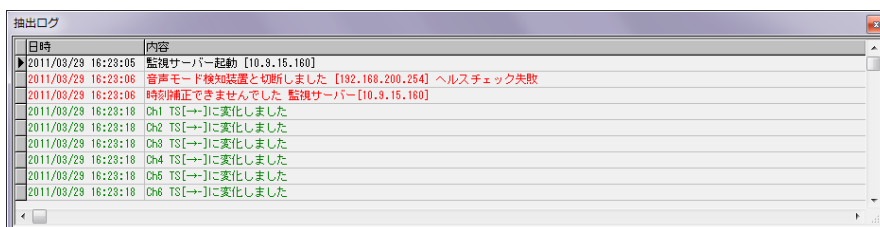
※複数キーワードには対応していません。

4) チャンネルによる抽出

選択したチャンネルのログを抽出します。

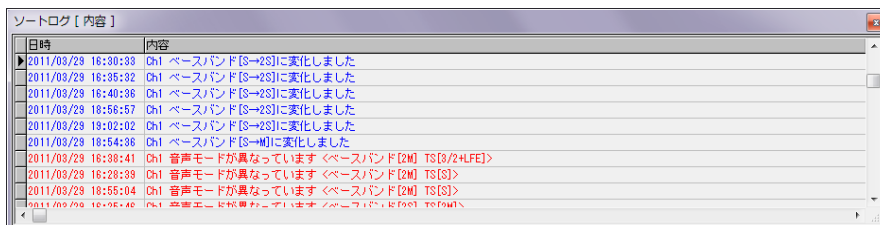
② ログの抽出


-  ボタンをクリックします。
- 指定した条件が全て一致するログが表示されます。



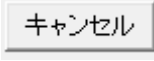
- タイトルをクリックすると、クリックしたタイトルの昇順にログを表示した画面が表示されます。

以下は、「内容」タイトルをクリックした時に表示される画面です。



-  をクリックすると抽出ログ画面を閉じます。
- 何も操作せず 60 秒間経過すると、自動的に抽出ログ画面を閉じます。

③ ログ抽出のキャンセル

-  ボタンをクリックします。本画面を閉じます。

2. 9 バージョン情報

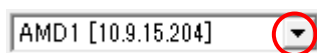
2. 9. 1 AMD-9バージョン情報

AMD-9のバージョン情報を表示します。

メニューバーの「ヘルプ」→「ハードウェアバージョン」をクリックします。

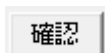


① AMD-9の選択



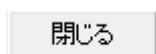
をクリックし、表示されるリストより情報を取得・表示したいAMD-9を選択してください。

② AMD-9バージョン情報の取得と表示



ボタンをクリックします。

③ 本画面の終了

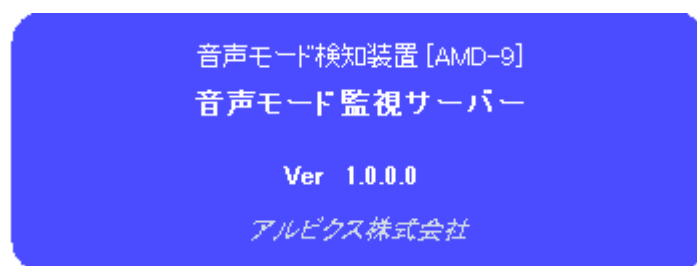


ボタンをクリックします。

2. 9. 2 管理ソフトバージョン情報

監視サーバーソフトのバージョン情報を表示します。

メニューバーの「ヘルプ」→「ソフトウェアバージョン」をクリックします。



① 本画面の終了

本画面上をクリックします。

2. 10 AMD-9情報参照

2. 10. 1 時刻参照・設定

AMD-9の時刻の確認や補正設定を確認できます。

メニューバーの「ヘルプ」→「[AMD-9]情報参照」→「時刻参照・設定」をクリックします。



① AMD-9の選択

AMD1 [10.9.15.204]



をクリックし、表示されるリストより情報を参照・設定したいAMD-9を選択してください。

② 時刻と時刻補正情報の取得と表示

確認

ボタンをクリックします。

③ 時刻の設定

PC時刻をAMD-9に設定します。

PCの時刻を選択した[Amd-9]に設定

ボタンをクリックします。

④ 本画面の終了

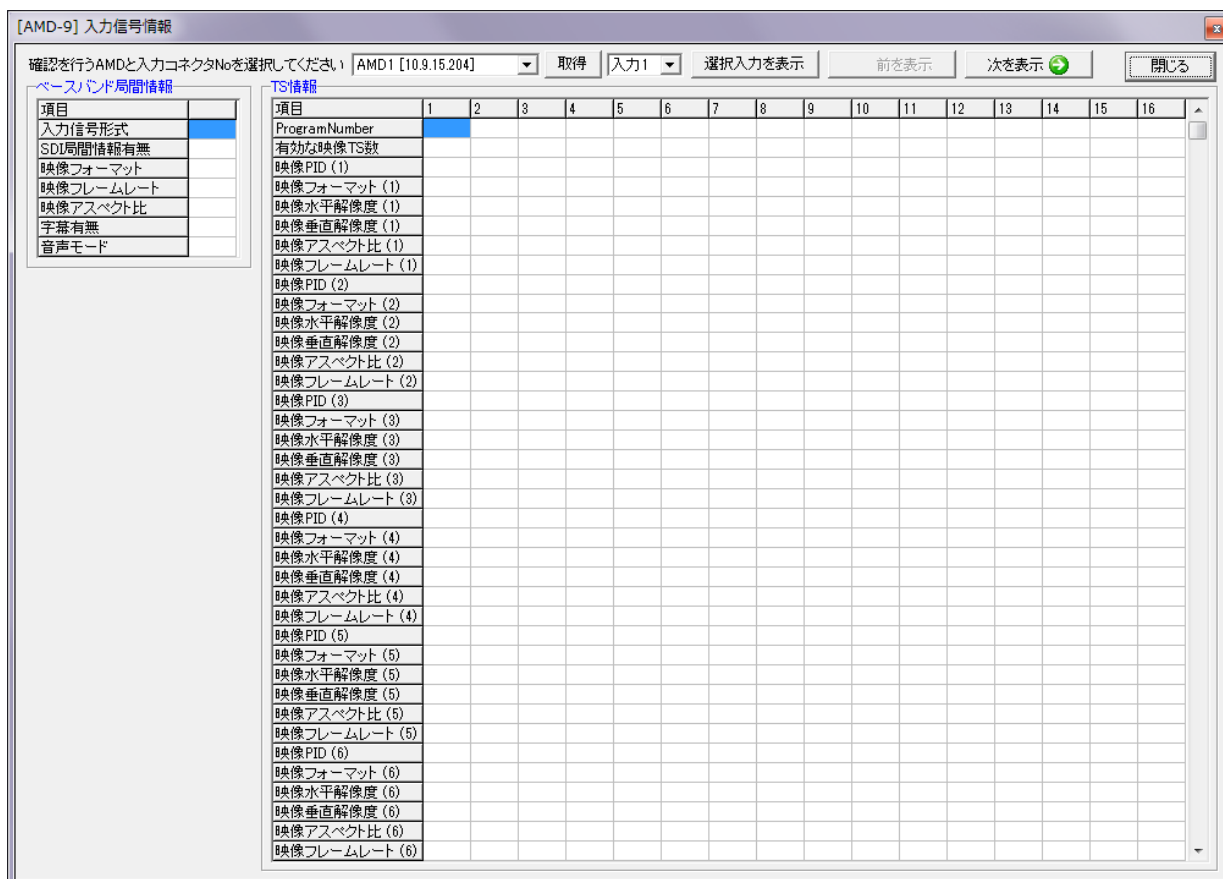
閉じる

ボタンをクリックします。

2. 10. 2 入力信号情報

入力信号情報を表示します。

メニューバーの「ヘルプ」→「[AMD-9]情報参照」→「入力信号情報」をクリックします。



① AMD-9 の選択

AMD1 [10.9.15.204]



をクリックし、表示されるリストより情報を参照・設定したいAMD-9を選択してください。

② 入力信号情報の取得

AMD-9 を選択し、**取得** ボタンをクリックします。

全ての入力信号情報を取得し、選択されている入力コネクタ No の信号情報を表示します。


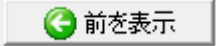

③ 入力コネクタ No の選択

入力1



をクリックし、表示されるリストより情報を表示したい入力コネクタ No を選択してください。

④ 入力信号情報の表示

- ・管理ソフトで常時取得している入力情報を表示します。
- ・AMD-9 と入力コネクタ No を選択し、 ボタンをクリックします。
- ・ をクリックすると、選択されている入力コネクタ No の1つ前の入力コネクタ No の信号情報を表示します。
- ・ をクリックすると、選択されている入力コネクタ No の1つ次の入力コネクタ No の信号情報を表示します。

⑤ 本画面の終了

- ・ ボタンをクリックします。

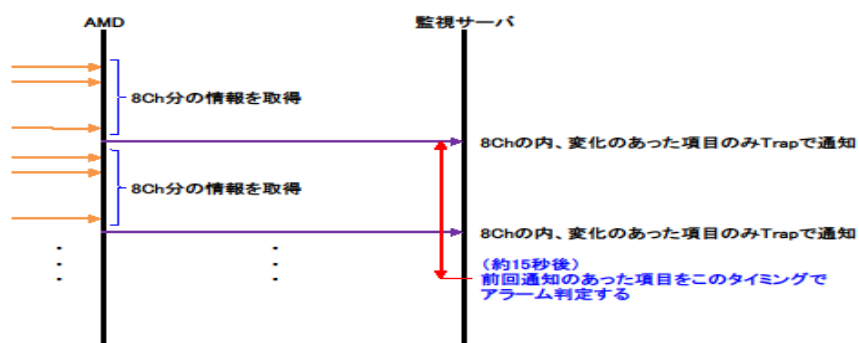
3. 機能説明

3. 1 音声モードアラームの検出について

AMD1台でSDI信号を8入力、TS信号を1入力し、8Ch分の音声モード監視を行えます。ハードウェアでは1Ch毎の通知は行わず、全収容数分の情報を取得し、8Ch揃ってからTrapにて通知が行われます。

音声モード検出タイミングによってはSDI信号の音声モードとTS信号の音声モードが異なってしまう事が考えられます。

このタイミングずれによる誤検知を防ぐため、本ソフトウェアでは以下の方式を実装します。



4. 特記事項

4. 1 インストールフォルダにあるファイルについて

インストールフォルダにあるファイルは管理ソフトで使用している重要なファイルです。
手動で編集、変更する事はお控えください。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038